



川口工場 製品置き場（PHC杭）

- 本社所在地：東京都豊島区
- 事業概要：コンクリートパイルの基礎設計・製造・施工管理、場所うち杭・鋼管杭の販売、什器備品の販売設置
- 常時使用する従業員：83名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：57億円
(2025年3月期)
- 法人番号：9013301004057
- Web：https://kodama-conc.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
立石 桜

「安心・安全」な杭基礎で快適な未来への基盤を築く

児玉コンクリート工業は既製コンクリート杭の製造・施工を主業とし、年間売上50億円、月間製造能力2000t～3000tを有する中堅杭メーカーである。製造から現場施工管理までを一貫して提供できる体制を強みとし、関東圏を中心にマンション・物流倉庫・商業施設等の基礎工事を多く手掛けている。市場が大径化・高支持力化していく中で徐々に競争力が低下し、杭以外の商材を増やすなど対応してきたが、ここで思い切った投資を行うことにより成長を加速させたい。社長の限界が会社の限界！の信念のもと、従業員満足度の向上こそが顧客満足度の向上につながると思いで日々経営を行っている。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2038年の売り上げ100億円に向け、同業他社と協力し新工法の開発を行う。
工場設備の更新及び、需要の高い節付き杭を自社製造できる設備の導入を行う。

課題

- ・現在保有する支持力係数400の工法では、高支持力工法市場（支持力係数630～650）での競争力が低い
- ・現状の骨材ヤードの設備では、123N/mm²高強度杭の製造が出来ない
- ・油圧式拡大ヘッドを保有しておらず、施工設備の不足
- ・摩擦杭として経済的にも需要が高い節付き杭の内製化が出来ず、外注依存となっている

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・支持力係数630～650の新工法の導入
- ・骨材ヤードの全面更新
- ・油圧式拡大ヘッド・掘削設備の導入
- ・節付き杭製造設備の導入

実施体制

- ・同業他社から参加打診を受けている高支持力工法を正式に導入する。
- ・新工法施工のための必須設備である油圧式拡大ヘッド・掘削設備を導入することにより、施工範囲が広がり、安定施工が可能となり施工能力が大幅に向上する。
- ・骨材ヤードを水分管理を完全に行える設備へ更新し、123N/mm²高強度杭の評定取得を可能とする。

売上高100億円実現のロードマップ

1. 同業他社との協力により高支持力工法（支持力係数630～650）を開発し導入する。
 - ・新工法の導入により、大型物件の採用率が大幅に改善する。年間で数件～10件の受注増が見込まれ、t数で2,000～6,000の増加が期待できる。
2. 新施工を実現するための油圧式拡大ヘッド・掘削設備を導入する。
 - ・これにより長尺杭（30m～50m）でも安定施工が可能となり、物流倉庫・商業施設での施工能力が大幅に向上する。
3. 骨材ヤードの全面改修を行う。
 - ・現在の骨材ヤードは水分管理設備が不十分であり、123N/mm²の評定取得ができない。そのため高支持力工法に必須となる高強度杭の製造が出来ず、設計段階での選択肢が狭まっている。骨材ヤードの全面更新を行うことにより、高支持力工法の設計条件を満たすために不可欠な高強度杭の製造を可能にする。
4. 需要の高い節付き杭の自社製造を可能にするため、設備の導入を行う。
 - ・現在当社は節杭の製造設備を保有しておらず、外注に依存している。購入先は契約の関係で1社に限られており、価格も時価で非常にコストが高い。さらに、納期の制約や品質管理の制限もある。自社製造を可能にすることにより、大幅な利益率の改善と短納期での供給が可能となる。

本事業の実現により、受注件数の増加・売上の増加・利益改善・雇用の維持拡大が見込まれ、2038年に売上100億円企業への成長が実現可能となる。

